

JCMA 報告

**平成 23 年度
建設機械施工技術検定試験
結果報告**

試験部

1. はじめに

建設機械施工技術検定試験は、建設工事の機械施工に従事する技術者の技術の向上を図ることを目的として行われ、建設業法第 27 条に定める技術検定制度に基づいて、国土交通大臣指定試験機関として当協会が実施している。

この試験は、建設機械運転技術者の操作技能のみを対象とするものではなく、建設工事の機械化施工に必要な土木技術、建設機械の管理技術、さらにこうした技術の熟練度と応用力を兼ね備えた施工技術を対象としている。さらに 1 級（工事現場における建設機械運転技術者の指導監督的な職務に従事する者を対象）及び 2 級（主として熟練度の高い技術者を対象）に分けて試験が行われるとともに、原則学科試験の合格者について実地試験を行い、それに合格すると「1 級又は 2 級建設機械施工技士」と称することが認められている。

平成 23 年度については、6 月 19 日（日）に学科試験（10 会場）、8 月 19 日（金）から 9 月 11 日（日）の間に実地試験（13 会場）を行い、11 月 28 日（月）に実地試験の合格発表を行った。

2. 学科試験結果

6 月 19 日（日）に全国 10 会場で実施した学科試験の結果は次のとおりである（2 級についてはのべ人数）。

[1 級] 受検者数 2,861 名
合格者数 880 名
合格 率 30.8%

[2 級]

区 分	受検者数	合格者数	合格 率
第 1 種	785 名	470 名	59.9%
第 2 種	4,362 名	2,376 名	54.5%
第 3 種	131 名	57 名	43.5%
第 4 種	470 名	232 名	49.4%
第 5 種	110 名	32 名	29.1%
第 6 種	86 名	49 名	57.0%
合 計	5,944 名	3,216 名	54.1%

3. 実地試験結果

実地試験を、学科試験合格者、学科試験免除該当者（2 級技術研修終了者及び前年度実地試験不合格者（欠席者含む））に対し、1 級及び 2 級とも 13 会場で 8 月 19 日（金）から 9 月 11 日（日）の間に実施した。結果は次のとおり（2 級についてはのべ人数）。

[1 級] 受検者数 968 名
合格者数 877 名
合格 率 90.6%

[2 級]

区 分	受検者数	合格者数	合格 率
第 1 種	498 名	378 名	75.9%
第 2 種	2,571 名	2,334 名	90.8%
第 3 種	56 名	45 名	80.4%
第 4 種	248 名	220 名	88.7%
第 5 種	32 名	32 名	100.0%
第 6 種	48 名	42 名	87.5%
合 計	3,453 名	3,051 名	88.4%

4. おわりに

平成 24 年度については 2 月 1 日（水）から受検申込み用紙など（「受検の手引」一式）を当協会等で販売し、3 月 9 日（金）から 4 月 6 日（金）まで受検申込みを受け（郵送のみ）、6 月 17 日（日）に学科試験を行う予定である。